

# Full Speed



月刊SNSレポート 2020年10月号

---

Monthly **SNS** Report Vol.015



トピック

03          Facebook

04          Twitter

05          Instagram

06          LINE

07          フルスピード事例紹介

## 【Facebook】ブラウザ版Facebookのデフォルト設定が新デザインに

## トピックス

以前ご紹介したブラウザ版Facebookの新デザインがデフォルト設定になりました。使い慣れた従来のデザインに戻すことはできるのか、操作性にどのような違いがあるのか…運用担当者としては気になるところですよね。新デザインがデフォルトになったことでどのような変化があったのか改めて確認していきましょう。

画像表示は旧仕様に変更。インサイト画面は旧仕様のままに。

## ▼画像表示の仕様が旧仕様と同様に



## ▼インサイト画面は基本的に旧仕様と変わらず



新デザインは従来のデザインと比較して、よりApp版に近いスタイルとなっています。

ブラウザの縮尺サイズを同じ倍率にした際に、ニュースフィードにおける投稿の画面占有率が従来よりやや高くなっていることや、メニュータブが従来より大きくなっていることが特徴ですね。

Facebookページ管理者であれば、管理者権限のあるFacebookページから「クラシックFacebookに切り替える」を選択することで、48時間従来のデザインに戻すことが可能です。

以前新デザインについてご紹介した際には、「画像の表示順が従来と違う」点について解説しましたが、今回新デザインがデフォルト設定になったことと合わせて、旧デザインと同様の画像表示順になっていることが確認できました。

また、App版Facebookの画像表示順についても変わりはないです。そのため、新デザインに切り替わったことで今までと画像の見え方が変わるといったことはないのです。今まで通りの見え方を意識した画像選定を続けていくことがよろしいかと思われます。

(SNSコンサルタント：二俣)

## 【Twitter】9月初旬と下旬に大量凍結が発生！？

## トピックス

9月の8日ごろと23日ごろ、アカウントの大量凍結が発生しました。フォロワー数が大幅に減少した、先月よりフォロワーの減少が大きいというアカウントがあれば、大量凍結の影響があるかもしれません。突然フォロワーが大きく離脱したということがあれば、まずはTwitterでアカウントの凍結が頻発しているかどうか確かめてみましょう。

今回の大量凍結には「誤って凍結されたアカウント」もあるとのこと

## ▼今回の大量凍結についてのTwitter社によるアナウンス



We're seeing a number of accounts that have been locked or limited by mistake and not because they Tweeted about any particular topic. We're working to undo this and get those accounts back to normal.

[ツイートを翻訳](#)

午前4:40 · 2020年9月24日 · Sprinklr



出典：<https://twitter.com/TwitterSupport/status/1308853643144241152>

24日ごろの大量凍結の際に「フォロワー数が0人と表示される」といった不具合も発生していた模様です。また、本来凍結の対象でないアカウントも誤って凍結されていたとすることで、一部のアカウントはその後凍結が解除されております。そのため、フォロワー数が大きく減少した数日後にフォロワーが増加に転じた、というケースも一部のアカウントで見られました。

Twitterでは、大規模なアカウント凍結が例年定期的に発生しております。大量凍結によるフォロワーの減少幅はアカウントの規模などによって異なりますが、1日で100人以上の離脱が見られることもあります。

元々Twitterでは、アクティブでないアカウントやなりすましアカウントといった質の低いアカウントがコンスタントに凍結・アカウント削除されております。また、Twitterトレンドに載るほど話題にならなくても、Twitter側による凍結が多くなるタイミングもございます。

フォロワーの減少がユーザー自身によるフォロー解除なのか、それとも凍結の影響なのか見極めていくことはTwitter運用において大切なポイントです。フォロワー減がコンテンツ自体か、フォロワーの質による影響なのかを見極めて運用を進めていきましょう。

(SNSコンサルタント：二俣)

## 【Instagram】商品・スポット・投稿を「まとめる」新機能がテスト実装

## トピックス

フィード投稿やショップタグ投稿、スポット投稿をまとめることができる新機能が一部のアカウントにてテスト実装されました。

まだ実装されたばかりの機能で、かつテストの段階のため「まとめ機能」を活用しているアカウントは多くないですが、今後活用ができるのか一緒に考えていきましょう！

## 新たにテスト実装された「まとめ」機能とは



出典：<https://about.fb.com/ja/news/2020/09/guide/>

作成できるまとめは「**投稿まとめ**」「**商品まとめ**」「**スポットまとめ**」の3種類。

まとめ機能を実際に利用できるユーザーは現在一部のアカウントに限られていますが、作成されたまとめを見ること自体はどのアカウントでも可能ですので、あらかじめ予習しておきましょう◎

「投稿まとめ」では、IGTVやリールなどフィードに表示される投稿すべてをまとめることができ、「商品まとめ」ではカタログに追加されている商品やショップタグをつけた投稿が、「スポットまとめ」はスポットの位置情報タグと、タグに紐づいた投稿をまとめることができます。

また、作成した「まとめ」はストーリーやDMへのシェアも可能とのこと。

「投稿まとめ」の機能を活用すれば、自身のアカウントの投稿をカテゴリなどでまとめて、ストーリーでシェアすることで露出機会を増加、なんてこともできそうですね。

「商品まとめ」では、ショップタグを設定した投稿をブログ風にまとめることができるとのこと。商品について情報を深掘りして紹介できるため、ますますInstagramのショッピング機能の活用が見込まれます。

(SNSコンサルタント：二俣)

## 【LINE】管理画面に「タイムライン」タブが登場！

## トピックス

以前は「ホーム」タブの一覧に入っていたタイムラインが、新たに独立したタブとして管理画面上に表示されるようになりました。あわせてのアップデートとして、新機能「セルフプロモーション」と「マネタイゼーション」も追加されております。タイムラインの活用はどのように変わっていくのでしょうか？

## タイムラインが新機能を備えて独立したタブに

The screenshot shows the LINE management interface with the 'Timeline' tab selected. On the left, there's a menu with options like 'メッセージ配信' and 'メッセージ返信'. The main content area features a yellow banner for '[LINEコール] ユーザーと通話ができる「無料」でお店の電話に転送す' with a '詳細はこちら' button. To the right, there's a section for '新機能「マネタイゼーション」' with a '収益化' button and an illustration of a person watering a plant. Below this, there's a table with columns for '再生数', 'インプレッション', 'クリック', 'コメント', 'いいね', '収益化', and '宣伝'. The '宣伝' column has a red box around the '宣伝' button.

LINE公式アカウントの管理画面上に置いて「タイムライン」がホームタブから独立した、というだけでなく新たな機能を搭載したことでより活用の幅が広くなりました！タイムラインに追加された新機能の概要は以下の通りです。

**セルフプロモーション**：タイムライン投稿を広告出稿することが可能に。

**マネタイゼーション**：タイムライン投稿に広告を掲載し、広告収入を得ることが可能に。

※マネタイゼーションの利用には一定の条件があります。

また、LINEアプリから公式アカウントの開設・管理が可能になったことや、タイムラインでのマルチアカウント対応も発表されており、友だち以外の投稿見ることができる＝友だち以外に投稿を届けられるタブ「ディスカバー」も実装されました。

LINEのタイムラインが機能強化されていくことで、今後TwitterやInstagramのようにコンテンツ発信によるユーザーコミュニケーションも重要性を増していくことが伺えます。ますます企業アカウントの運用の幅が広がりそうなLINEタイムライン、ぜひみなさんも活用していきましょう！

(SNSコンサルタント：二俣)

## 【Twitter】エンゲージメントを促す投稿にはどれだけの効果が…？

### トピックス

FacebookやInstagramと比較してタイムライン上で投稿の流れるスピードが早いとされるTwitter。Twitter運用のコンテンツ作成において大切なことは、「いかにユーザーの親指のスクロールを止めることができるか」です。現在さまざまなアカウントで見られる「エンゲージメントを促す投稿」は、いったいどれだけユーザーの興味を惹き、親指を止めてコンテンツに関心を持ってもらえるのか…弊社・他社事例を交えてご紹介します！

### エンゲージメントを促す典型例「いいねリツイート」はEG獲得につながっているのか？

#### ▼弊社運用アカウントでの増加実績（いいねリツイート形式）

	いいね数	リツイート数	いいね数 : 約2倍 リツイート数 : 約17倍
未実施投稿 平均値	9.6	0.8	
施策実施投稿 平均値	18.5	13.5	

### <エンゲージメント促進投稿：他社アカウントでの実施例>



上記で取り上げた「いいねリツイート」形式の投稿の大きなメリットは、「いいね」より獲得のハードルが高い「リツイート」を誘発できることです。リツイートによる投稿の拡散を図ることができるため、インプレッションの増加が見込めます。もちろん「いいね」の増加も期待できるため、投稿が外部に露出することはもちろん、エンゲージメントによるユーザーとの関係性構築にもつながる形式の投稿です。

Twitter運用においては「一方的な発信」ではなく「ユーザーありきの発信」をしていくことが大切なポイントです。また、「いいねリツイート」の形ではなくても、「〇〇な人は××」といったエンゲージメントを促す文言は、コンテンツの内容をジブンゴト化してもらいやすくなります◎

コンテンツの切り口に悩んだ際は、「エンゲージメントを促す文言」を末尾に追加してみてもいいでしょうか。フルスピードのTwitterコンサルティングでは、日々の更新業務にとどまらずユーザーとの関係性構築にもつながるコンテンツ制作も行っております。

(SNSコンサルタント：二俣)

## 【Instagram】 いいね&amp;保存を促す画像でエンゲージメント率UP！(アパレル業界)

## トピックス

かつては“インスタ映え”という言葉の通り、いかにオシャレな写真を投稿するかがInstagram運用における最も重要なポイントとなっていました。現在は投稿内の情報量が多く“役に立つコンテンツ”が求められる傾向が強くなっています。それに伴い、これまで以上に重要な指標となるのが「いいね数」と「保存数」！今回は、いいね&保存を促すための画像を投稿に追加し、エンゲージメント率の向上に繋げた事例をご紹介します！

カルーセルの最後に画像を追加してエンゲージメント数が増加！

## ▼弊社運用アカウントでの増加実績

	いいね数	保存数	いいね数：約60%UP 保存数：約30%UP
未実施投稿 平均値	161	10	
施策実施投稿 平均値	257	14	

## ＜いいね&amp;保存促進画像：他社アカウントでの実施例＞



これまで以上にクオリティの高い情報、コンテンツが求められている現在、弊社で運用しているアパレル業界のアカウントでも、エンゲージメント率向上に向けて様々な施策を行ってきました。その中で特に効果が見られたのが、「いいね&保存を促す画像」を使った施策。具体的な施策内容としては、コーディネート紹介のカルーセル投稿の最後に、「いいね」「保存ボタン」をそれぞれ示してアクションを促す画像を追加し、効果検証を行いました。

その結果、画像を追加しなかった投稿と比較して、いいね数が約60%増、保存数が約30%増と、ともに増加し、それに伴いエンゲージメント率も上昇させることができました。また、いいね数や保存数が増えることでInstagram内での露出が増えるため、インプレッション数の増加や、新規ユーザーの獲得にも繋げることができる施策と言えます。

今回ご紹介したエンゲージメント促進用の画像は、1枚作成すれば他の投稿でも使い回すことができるので、投稿毎に画像を複数枚用意するのが難しい…という企業様でも実施しやすい施策です。

みなさんのアカウントでも取り入れてみてはいかがでしょうか？ (SNSコンサルタント：二俣)



月刊SNSレポート 2020年10月号  
Monthly SNS Report Vol.015

---

**ご不明点などございましたら**

**マーケティングコンサルティング事業部**

**ソーシャルメディアマーケティング部まで！**

**Mail : [s-consul@fullspeed.co.jp](mailto:s-consul@fullspeed.co.jp)**



Full Speed

Ad Technology & Marketing Company

**Full Speed**

“ココロ ∞ テクノロジー”